

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成30年10月東北分
 (東北6県)」について

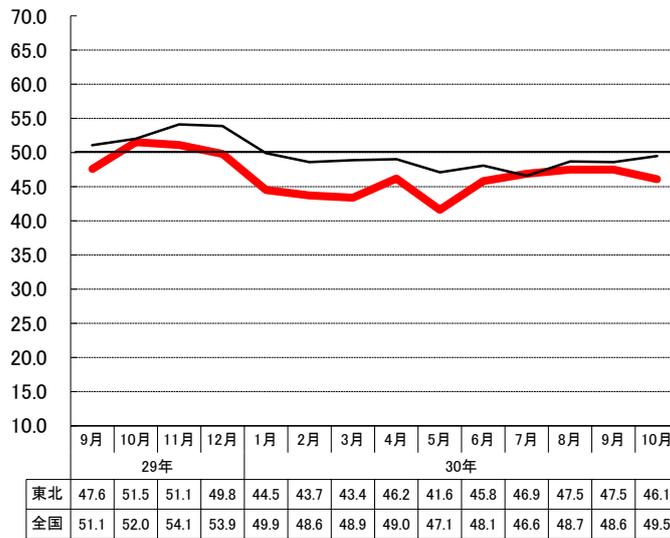
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成30年10月東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「46.1」と5ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲1.4ポイントとやや下回った。

現状判断DIの推移

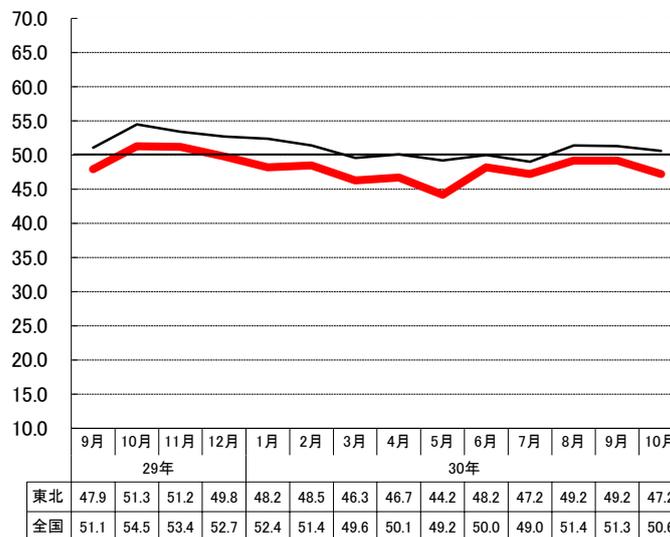


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月前の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断DIは「47.2」と3ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲2.0ポイントとやや下回った。

先行き判断DIの推移

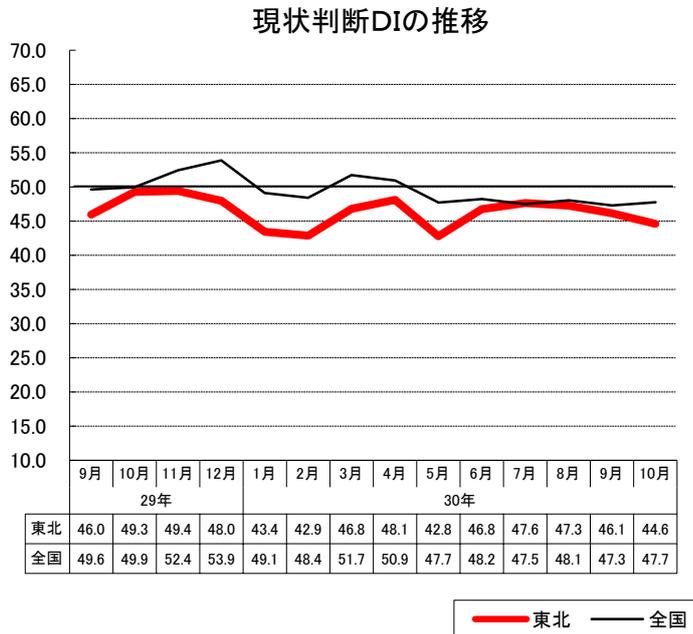


— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「44.6」と3ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.5ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…遊園地・観光名所・テーマパーク、旅行代理店、観光型ホテル・旅館、の業種等でDIが前月を上回ったが、乗用車販売店、家電量販店、その他専門店、の業種等でDIが前月を下回った。DIは「42.3」(▲3.0)と2ヶ月連続で前月を下回った。

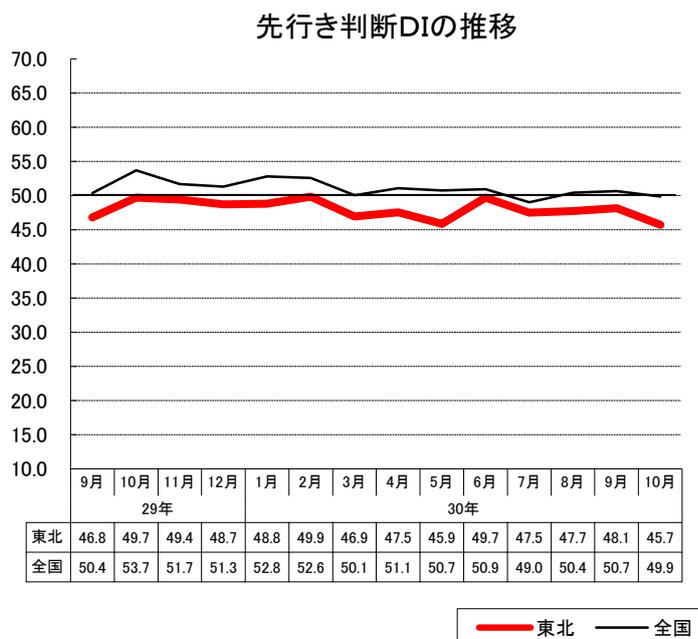
○企業動向関連…コピーサービス業、農林水産業、広告代理店・広告業協会、の業種等でDIが前月を上回ったが、電気機械器具製造業、金属製品製造業、出版・印刷・同関連産業、の業種等でDIが前月を下回った。

DIは「46.5」(▲1.5)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「55.0」(+3.7)と3ヶ月ぶりに前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「45.7」と3ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲2.4ポイントとやや下回った。



○家計動向関連…設計事務所、リフォーム業、商店街、の業種等でDIが前月を上回ったが、住宅販売会社、コンビニ、家電量販店、の業種等でDIが前月を下回った。

DIは「45.0」(▲2.0)と3ヶ月ぶりに前月を下回った。

○企業動向関連…窯業・土石製品製造業、金融業、食料品製造業、の業種等でDIが前月を上回ったが、電気機械器具製造業、建設業、広告代理店・広告業協会、の業種等でDIが前月を下回った。

DIは「45.8」(▲4.9)と5ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「50.0」と、前月と同値、横ばいとなった。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	29年				30年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北現状	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9	46.8	48.1	42.8	46.8	47.6	47.3	46.1	44.6
家計動向関連	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9	45.7	47.4	40.1	46.3	46.7	47.7	44.7	42.3
企業動向関連	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1	46.6	49.3	45.3	44.4	45.1	43.2	48.0	46.5
雇用関連(参考)	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0	53.9	50.0	53.9	54.2	57.9	52.6	51.3	55.0

（2）先行き判断D I

	29年				30年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北先行き	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9	46.9	47.5	45.9	49.7	47.5	47.7	48.1	45.7
家計動向関連	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9	46.8	46.8	43.9	50.2	46.3	46.6	47.0	45.0
企業動向関連	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8	45.9	47.9	46.6	47.2	48.6	49.3	50.7	45.8
雇用関連(参考)	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3	50.0	51.3	56.6	51.4	52.6	51.3	50.0	50.0

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 30 年 10 月 25 日～31 日

回答者数 176/189 名、回答率 93.1%（全国 1,858/2,050 名、90.6%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（観光型旅館）…繁忙期のため例年どおりに来客数が多いが、今年は更に微増ではあるものの前年を上回っている。

（旅行代理店）…国内団体旅行の問合せが増えており、予約件数も増えている。

（通信会社）…引き続き設備投資を続けているため、その効果が継続している。インターネットとIP電話のサービスへの加入者が増加しているが、特に契約済みの客からの追加サービス加入が増えている。

（遊園地）…9月に不安定であった天候が落ち着きをみせており、月後半に雨にたたられた前年と比べても順調に推移している。また、北海道胆振東部地震の影響で行き先を函館から南に移しているのか、東北部の小学校などの入込が増えている。

（住宅販売会社）…消費税の引上げを意識している客が多く、10年以上塩漬けにされていた宅地が、建築受注も含めて数件売却できている。

（建設業）…民間企業発注案件の受注により景気が上向いている。

（人材派遣会社）…今まで無料の採用手法を活用していた企業も、採用難が顕著になってきたことで、金を掛けてでも採用をしたいという動きが強まっている。結果として当社サービスを活用する求人数は増加を続けており、入社決定実績も同様に増加している。

（民間職業紹介機関）…人手不足により、雇用条件が改善傾向にある。

○「変わらない」

（商店街）…イベントなどが多い月ではあるが、来街客が購買に至るまでの効果が今一つみえていない。物販店、飲食店共に購入客数、単価の下落が顕著であるとの声を多く聞いている。

（百貨店）…衣料品やファッションアイテムの動きをみると、スーツやコートなどの重衣料系の動きが鈍く、客単価が低下している。目立った好調アイテムがなく、小売業において消費の回復は実感できない。

（衣料品専門店）…秋物商材の立ち上がりは順調であったが、その後の冬物商材への移行がうまくいかず、単価の稼げるアウター、コート、ニットなどが売上につながらないため、苦戦している。

（タクシー運転手）…10月は寒暖の差が大きくなり始めて天候が落ち着かないこともあり、仕事帰りの帰宅時間が早くなっている。

（美容室）…いつも利用しているヘッドスパやトリートメントはそのまま継続している客も、新しいメニューの提案に対してはなかなか動きをみせないため、景気は横ばいで推移しているとみている。

（リフォーム業）…増改築のリフォーム工事は増えていないが、給湯器や暖房器具などの住宅設備工事が増えている。

（農林水産業）…農協による米の買取り価格は前年を上回ったものの、収穫量は天候不順により大幅に減少している。

（食料品製造業）…旅行者がメイン客層である店舗の売上が良くない。

（通信業）…設備投資よりも経費削減に重きが置かれている。

（広告業協会）…冬型の広告主に期待をしているものの、突出した動きが見当たらない。

（職業安定所）…人手不足を理由とした店舗閉鎖に伴う離職者が発生しているが、雇用の受け皿が広がってきているのか、短期間での再就職者が多い。

○「やや悪くなっている」

(酒類販売店) … 今月は飲食店への販売量がかなり減少している。特に単価が比較的高い割烹料理店などは予約がほとんどなく、人件費削減のために臨時休業を強いられる店も出てきている。会社が行う接待などが控えられているように見受けられる。

(スーパー) … 3か月前と比較した売上前年比は微減にとどまっているが、その後の8～9月で上り調子にあった流れからは一転して急降下している。また、近隣の競合店舗も価格競争が激化している。

(コンビニ) … たばこ増税前のまとめ買いからの反動、および、増税後の禁煙、節煙などの動きのため、10月の売上が大きく落ち込んでいる。来客数、客単価共に前年を下回っており、売上の前年比も5%減少している。

(家電量販店) … 家電エコポイント制度の期間中に販売したテレビの買換え需要が始まっているとの報道があるが、現時点ではそのような気配はなく、落ち込みが気になる状況である。

(乗用車販売店) … そろそろ来年の春以降に向けて車選びをする客が増えてきており、現在の売上につながっていない。

(住関連専門店) … 最近の客の買物の仕方からは、本当に必要なものは購入するが無駄な金は使わないという傾向が見受けられており、消費者の財布のひもが固くなっている様子がうかがえる。

(白衣・ユニフォーム専門店) … 冬物の動きが鈍い。気温的なものもあるが全体的に物の動きが良くない。会社からの貸与の形が変わってきていることも原因の一つではないか。

(一般レストラン) … 企業の接待や記念日における高級店の利用が減ってきている。景気が良ければ相手を喜ばせる価格帯の店を利用できるが、今は予算の関係上、飲食で3千円程度が相場であるとの客の声を何回か聞いている。このことから、世の中の景気は下向きの傾向にあるとみている。

(都市型ホテル) … レストラン部門、宿泊部門共に、来客数及び売上が前年を下回っている。また、法人利用中心の宴会場予約も前年割れとなっている。

(出版・印刷・同関連産業) … マイナス金利の影響で金融機関への売上が減少している。また、広告は紙ベースからインターネットへの移行が進んでおり、事業者の経費節減の影響もあってチラシの印刷量が落ち込んでいる。売上は3か月前と比較すれば微減であるが、前年同月比ではここ2～3か月約10%の減少で推移している。

(電気機械器具製造業) … 取扱製品全般において、大口客向けの価格が徐々に下がっている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(衣料品専門店) … 来年の消費税の引上げが発表されているため、冬物は今年中に買っておこうという動きになるのではないかと期待している。

(一般レストラン) … 個人客の予約はかなり少ないものの、小規模なパーティーの予約は例年よりも多く入っている。そのため、年末にかけて景気はやや良くなるとみている。

(金融業) … 住宅や自動車などの高額商材の分野において、消費税の引上げ前の駆け込み需要が顕在化するとみている。

(人材派遣会社) … 改正労働者派遣法に伴う利益率の増加傾向は、契約期間の関係から2～3か月先も変わらないとみている。

○「変わらない」

(商店街) … 戦後から頑張っていた生活雑貨の店舗が、後継者不在のため店主の高齢化に伴い店仕舞いをしてしまった。店主の高齢化はともかく、後継者については景気が良ければどうにかなったかもしれないと残念でならない。

(寝具販売店) …冬に向けてこたつや布団などの受注が増えているものの、以前のような枚数にはなっていない。二次製品の売上もなかなか伸びない状況である。

(百貨店) …食料品への関心度は継続する見込みである。また、これから寒くなれば、鍋物商材やクリスマスケーキなどのオケージョンアイテムの動きもあるとみている。一方、衣料品も気温の低下に伴って動き出すとはみているものの、現状が余り良くないため、回復の見込みは少ない。

(スーパー) …原油価格の高騰が続いており、次第に運送費や水道光熱費が値上がりして、製造コスト増加への影響が更に出てくるのではないかと。最低賃金の改定がされたが、消費を喚起するような要因が見当たらないため、消費の傾向は変わらないとみている。

(家電量販店) …4K放送の開始や東京オリンピック需要により、引き続きテレビなどの需要が見込める。ただし、全体的にはガソリンなどの値上げがあるため、それほど好調に推移するとは考えにくい。客も慎重な買物の動きが目立っている。

(都市型ホテル) …予約状況からは、宿泊、宴会共にほぼ前年並みで推移する見込みである。

(住宅販売会社) …建て替えの受注は多いが、地元の解体業者はパンク状態であり、着工のめどが立てられない。

(食料品製造業) …新規受注などにより売上増加を見込んでいるが、既存商品の落ち込みが激しく、全体的には横ばいで推移するとみている。

(木材木製品製造業) …年明け以降は例年需要が落ち込む時期であるが、今回は消費税の引上げ前の駆け込み需要が見込まれるため、活況とまではいかないものの、さほど需要は落ち込まないとみている。

(広告業協会) …年末商戦や年始商戦は前年並みに推移するとみている。また、年号変更に伴う諸作業が活発化することを期待している。

(飲食料品卸売業) …量販店や激安店の出店の勢いは衰えていない。地元のスーパーでは、日替わり特売や数量限定販売、タイムサービスなどで前年の数字の維持を図っている状況である。

(新聞社〔求人広告〕) …地方の採用が活性化しないと本当の景気回復とはいえない。採用側がいかに自社の魅力をアピールできるかといったセミナーには地方からの参加者も増え始めているため、採用にはずみがつけば雇用拡大の上向き感が出てくるとみている。

(職業安定所) …製造業からの求人がかなり減少している。また、復興事業が落ち着いて管外からの労働者が減少していることから、小売業、宿泊業、飲食業、サービス業からの求人は今後も厳しい見込みである。そのため、景気は余り変わらないとみている。

○「やや悪くなる」

(建設業) …本年度の大型公共工事については、2～3か月先も入札期間中の案件が多い。また、結果が出るのは更にその先になる見込みである。

(輸送業) …主要荷主が減産しており、作業料金の見直しも要請されている。また、冬場に向かって経費増加が見込まれるため、非常に厳しい環境になるとみている。

○「悪くなる」

(コンビニ) …競合店舗による売上減少、また、人手不足対策や賃金の上昇により非常に厳しい経営状態となっている。さらに、冬は光熱費の負担が大きくなり除雪代も発生する。正直冬を越せるのか不安である。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上